

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成26年7月24日(2014.7.24)

【公開番号】特開2012-256121(P2012-256121A)

【公開日】平成24年12月27日(2012.12.27)

【年通号数】公開・登録公報2012-055

【出願番号】特願2011-127657(P2011-127657)

【国際特許分類】

G 0 6 F 12/00 (2006.01)

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 12/00 5 2 0 G

H 0 4 N 1/00 1 0 7 Z

G 0 6 F 3/12 A

G 0 6 F 3/12 B

【手続補正書】

【提出日】平成26年6月9日(2014.6.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

文書を光学的に読み取って電子ファイルの生成が可能な画像処理装置であって、  
前記電子ファイルに添付される、或いは前記電子ファイルを添付するファイルを指定する指定手段と、

前記電子ファイルに前記指定手段により指定された前記ファイルを添付するか、前記指定手段により指定された前記ファイルに前記電子ファイルを添付することにより、添付後のファイルを生成する添付手段と、

前記添付後のファイルの送信方法及び宛先を指定する送信指定手段と、

前記添付後のファイルを、前記送信指定手段で指定された前記送信方法及び宛先に従って送信する送信手段と、

を有することを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】

文書を光学的に読み取って電子ファイルの生成が可能な画像処理装置であって、

前記電子ファイルに添付される、或いは前記電子ファイルを添付するファイルを指定する指定手段と、

前記電子ファイルに前記指定手段により指定された前記ファイルを添付するか、前記指定手段により指定された前記ファイルに前記電子ファイルを添付することにより、添付後のファイルを生成する添付手段と、

前記添付後のファイルの格納先を指定する格納先指定手段と、

前記添付後のファイルを、前記格納先指定手段で指定された前記格納先に格納する格納手段と、

を有することを特徴とする画像処理装置。

【請求項 3】

前記電子ファイルのファイル形式を設定する設定手段と、

前記設定手段により設定された前記電子ファイルのファイル形式が、当該電子ファイルに他のファイルを添付可能なファイル形式かどうかを判定する判定手段とを更に有し、

前記判定手段が前記電子ファイルに他のファイルを添付可能なファイル形式であると判定した場合、前記電子ファイルに添付される前記ファイルは、前記指定手段により指定可能となることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の画像処理装置。

【請求項 4】

前記指定手段は、前記ファイルをフォルダとファイル名で指定することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の画像処理装置。

【請求項 5】

前記電子ファイルの名称を指定する名称指定手段を更に有し、

前記名称指定手段は、前記添付後のファイルの名称を、前記電子ファイルと前記ファイルのそれぞれのファイル名、任意の文字列の少なくともいずれか、或いは前記電子ファイルと前記ファイルのそれぞれのファイル名、任意の文字列のいずれかの組み合わせにより指定することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の画像処理装置。

【請求項 6】

前記指定手段は、前記電子ファイルに添付される前記ファイルを複数指定可能であることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の画像処理装置。

【請求項 7】

前記格納先は、前記指定手段により指定された前記ファイルと同じフォルダ、或いは任意のフォルダを含むことを特徴とする請求項 2 に記載の画像処理装置。

【請求項 8】

前記格納先が前記指定手段により指定された前記ファイルと同じフォルダである場合、当該ファイルと前記添付後のファイルの名称とが同じであれば、前記ファイルの名称或いは前記添付後のファイルの名称を変更する変更手段を更に有することを特徴とする請求項 2 に記載の画像処理装置。

【請求項 9】

文書を光学的に読み取って電子ファイルの生成が可能な画像処理装置を制御する制御方法であって、

前記画像処理装置の指定手段が、前記電子ファイルに添付される、或いは前記電子ファイルを添付するファイルを指定する指定工程と、

前記画像処理装置の添付手段が、前記電子ファイルに前記指定工程で指定された前記ファイルを添付するか、前記指定工程で指定された前記ファイルに前記電子ファイルを添付することにより、添付後のファイルを生成する添付工程と、

前記画像処理装置の送信指定手段が、前記添付後のファイルの送信方法及び宛先を指定する送信指定工程と、

前記画像処理装置の送信手段が、前記添付後のファイルを、前記送信指定工程で指定された前記送信方法及び宛先に従って送信する送信工程と、

を有することを特徴とする画像処理装置の制御方法。

【請求項 10】

文書を光学的に読み取って電子ファイルの生成が可能な画像処理装置を制御する制御方法であって、

前記画像処理装置の指定手段が、前記電子ファイルに添付される、或いは前記電子ファイルを添付するファイルを指定する指定工程と、

前記画像処理装置の添付手段が、前記電子ファイルに前記指定工程で指定された前記ファイルを添付するか、前記指定工程で指定された前記ファイルに前記電子ファイルを添付することにより、添付後のファイルを生成する添付工程と、

前記画像処理装置の格納先指定手段が、前記添付後のファイルの格納先を指定する格納先指定工程と、

前記画像処理装置の格納手段が、前記添付後のファイルを、前記格納先指定工程で指定された前記格納先に格納する格納工程と、

を有することを特徴とする画像処理装置の制御方法。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

上記目的を達成するために本発明の一態様に係る画像処理装置は以下のような構成を備える。即ち、文書を光学的に読み取って電子ファイルの生成が可能な画像処理装置であって、前記電子ファイルに添付される、或いは前記電子ファイルを添付するファイルを指定する指定手段と、前記電子ファイルに前記指定手段により指定された前記ファイルを添付するか、前記指定手段により指定された前記ファイルに前記電子ファイルを添付することにより、添付後のファイルを生成する添付手段と、前記添付後のファイルの送信方法及び宛先を指定する送信指定手段と、前記添付後のファイルを、前記送信指定手段で指定された前記送信方法及び宛先に従って送信する送信手段と、を有することを特徴とする。